

# 第3回ふうせんバレーボール大会

◎開催日：平成29年10月9日（月・祝）

◎場所：鶴尾小学校体育館

風船バレーは始めたばかりであまり練習できていないけど少し上手になったと思います。前は風船を打つときに力を入れ過ぎて下に落ちていたけど、大会では両手で上に打つようにしました。そしたら他の人が取りやすいみたいでした。チームの人にも褒めてもらえてうれしかったです。赤チームに負けたのは悔しかったけど、青チームのみんなががんばったから優勝できました。次の大会でも優勝したいです。

優勝チーム 廣瀬いぶき

私は今回で、風船バレーの大会は2回目でした。1回目の時は、ゲームのルールが分からず、風船に触ることが難しく、また、風船に触る事ができても前に落としてしまう事が多く、とても緊張していました。しかし、2回目になるとミスをしてチームメイトがカバーしてくれることで自信を持って風船を打つことができるようになりました。そして、ラリーも続き、自然に緊張感が抜けてスポーツを楽しむことができました。これからもクラブの色々な活動に参加し、スポーツを楽しみたいと思います。

森岡 秀太

初めて参加して感じたのは、きちんと工夫されており、全員で参加できるようなルールになっていたことです。具体的には、風船の中に鈴を入れているという点である。音がするので分かりやすかった。風船の大きさに規定があり、どこにでも市販されている風船を購入してプレーすることはできないという特徴がある。「風船バレーボール」という言葉は聞いたことがあったが、プレーするときに簡単であるが、大変な部分もあった。手を上げた状態で打つのが大変であった。次回は、もう少し練習して打てるようにしたい。

和田健太郎

10月9日、鶴尾小学校体育館において風船バレー大会が行われました。参加者31名、ボランティア3名、実行委員5名でした。白・赤・オレンジ・青・緑の5チームでのリーグ戦。熱い戦いを繰り広げた結果は優勝青チーム、準優勝緑チーム、最下位のオレンジチームは「来年は頑張るでしょう」を授与されました。また、手作りのメダルも好評で参加者の方から「来年はこのメダルを目指して頑張るわ」との声を頂き、大変盛り上がった大会となりました。障がい者も健常者も子供も高齢者もみんなで一緒になって楽しめるこの大会を来年も盛大に行いたいと思います。 実行委員長 おおた



# 遍路ウォークの初参加

◎開催日：平成29年11月3日（金・祝） ◎場所：さぬき市長尾町

Tさん親子に便乗させて頂き、すごく楽しく、軽い気持ちで遍路ウォークに参加させて頂きました。平坦な道のりばかりだと想像していた、スタート地点では参加者全員と体操して、万全な態勢で臨みました。ただ、寒かったので肉テック(ヒートテック)を着用し歩き始めました。…ところが、すぐに山の中!!。アップダウンを繰り返す中で、私は早くにもダウン(泣き)救護車に乗り2.5km<sup>ミ</sup>辺りで待機していました。そして、Kさん・Tさん親子が見えると再び挑戦しました。残りの2.5km<sup>ミ</sup>は、完歩しようと決めていたけれど、またもやアップダウンの山道へ。ラスト1km<sup>ミ</sup>も救護車に助けられました。トータル余り歩いていないけれど、みんなで食べたうどんの美味しさ! 2杯もペロリと食べました。来年は、全て自分の足でゴールしようと決心しました。

今回、参加できなかった「さらスポーツクラブの皆さん」来年は、達成感を味わいましょう。悔しさを残して来年へ臨もうと思っています。 久保真由美

# アウトドアを楽しもう

◎開催日：平成29年11月19日（日） ◎場所：御山公園

今回のアウトドアは、定番のBBQでした。晴れたのはよかったけど、強風の中でのイベントでした。それでも、沢山のボランティアさんと温かい参加者さんの気持ちのおかげで、楽しいあつという間の一日でした。BBQでは、リーダーの手間をかけた一鶴張りの鶏の足が好評頂きました。

ダンボールハウス作りでは、みんなが力を合わせて大きなハウスができました。またミニティビークラフト作りでは、自分だけの可愛いライトがたくさんできました。初めての参加者の方から「参加してよかったです」の声が聞けてうれしかったです。今年もいい笑顔に沢山出会えて、感謝しています。ありがとうございました。また、来年...♡ 実行委員長 川西裕子



## 編集後記

第21号は、記事満載のため写真が少なめですが、福祉センターロビーでは写真をたくさん掲示しています。(2/1~2/28) ぜひ、足をお運びご覧下さいね。 新聞担当

## さらスポーツクラブが目指しているもの

全ての人(子どもから高齢者に至るまで、障がいの有無に関わらず)が能力に関わらず生涯に渡り、気軽にスポーツ文化活動に携われる環境の場を提供すること、また世代や障がいの枠を越えた交流を通じて相互理解を深めることにより、つながりを持ちお互いの可能性を広げることを目的としています。

ご意見・ご感想： ☎087-813-5016 E-mail [sara.takamatu@nifty.com](mailto:sara.takamatu@nifty.com)

発行責任者： 高岡憲美・木村有加・中田賢二

